

年頭に当たって



内閣府沖縄総合事務局長

吉田正嗣

昨年は、全国的な経済停滞に伴

つて沖縄も雇用等厳しい状況が続
きました。また、なんと言つても
米国のテロ事件以降、観光客の落
ち込みが沖縄の観光産業を直撃し
ました。そのような中での新年の幕開け
となりましたが、今年は沖縄の本
土復帰から三十周年となります。

復帰以来、自立的発展は沖縄の
振興開発の大きな目標となつてき
ました。しかしこれまでのところ、
なかなか依存型経済を脱し得てい
ません。復帰後三十年を経た二十
一世紀の沖縄の課題は自立的な経
済発展をいかに実現するかという
ことです。

そのため現在、内閣府が中心と
なつて、沖縄振興新法や新計画の
検討がなされており、すでに税制
の基本的なところは昨年末に決定
されました。これから国会審議等
を経て新しい沖縄振興のための諸
制度等がスタートすることになり
ます。

今年からはこの新しいしくみを
いかに活用し、成果をあげていく
か、そして経済の自立的発展につ
なげていくかと、そういうことが課題に
なってきますので、私たち沖縄総
合事務局の仕事においても、そ

一方、はじめに述べましたよう
に、沖縄の経済情勢はまだまだ厳
しいものとなつております。年末
年始の時点でやや改善のきざしが
見えたようですが、まだ予断を許
さない状況です。産業・雇用や觀
光について引き続き注意深く見守
つていかなければなりません。

また、今年は、ペイオフへの移
行、JA合併、産学官協力の促進、
社会資本の着実な整備、バス・タ
クシーの規制緩和その他の大規模な
課題がいくつもあります。いずれ
も県民生活や経済に直接にかかわ
る事項であり、沖縄総合事務局と
して昨年に引き続きしっかりと取
り組んでいく必要があります。

沖縄総合事務局は、昨年の一月
から内閣府に置かることになりました。
内閣府は各省庁の上に立つて強力な総合調整を行うという
理念に基づいて新しく創設された
機関です。一年余りを経過して特
に思うことは、私たち沖縄総合事
務局の職員が自分の守備範囲の仕
事を全うすることはもちろんです
が、内閣府の一員となつてこれまで
以上に多くのことに気を配りな
がら仕事を進める必要が出てきた
ということです。そのためには、
沖縄をめぐるさまざまな事柄に普
段から幅広く関心を持ち、自分の
仕事とどう関連するかを考えるよ
うにするというのが大事なことの
一つではないかと思います。今年
は、そういうことを頭において
いただければと思います。

昨年来、残念ながら沖縄総合事
務局で不祥事が問題となつていま
す。二度とこのようなことのないよ
う取り組んでいるところですが、
国民、県民の信頼を取り戻し、今
後不信を招くようなことのないよ
う一層気をひきしめていかなければ
なりません。年頭に当たり、あ
らためて職員の皆様に国家公務員
としての規律の厳格な保持をお願
いします。

最後になりますが、皆様には是非とも健康に留意されて、この一年も元気にご活躍されますよう、そして、沖縄の新たな発展に向かって力を注いでいただくようお願
いして年頭のあいさつとさせてい
ただきます。

いつた観点からの取り組みが一層
重要になつてくるものと考えてい
ます。

たとえば、沖縄の経済全体を通
じて言えることですが、製品にし
るサービスにし、安いコストで
高品質のものを生み出していける
ようになることが競争力を高め自
立を可能にするための基本です。

沖縄総合事務局の事務のすべて
が直接そいつたことに関係する
わけではありませんが、沖縄の産
業活動がその方向に向かつて進ん
でいるよう、私たちの仕事の中
でそれにつながる方策はないか、
またそういう環境条件をつくりだ
すことはできないか、これまで以
上にそういうことを考えていかな
ければならないと思います。

一方、はじめに述べましたよう
に、沖縄の経済情勢はまだまだ厳
しいものとなつております。年末
年始の時点でやや改善のきざしが
見えたようですが、まだ予断を許
さない状況です。産業・雇用や觀
光について引き続き注意深く見守
つていかなければなりません。

また、今年は、ペイオフへの移
行、JA合併、産学官協力の促進、
社会資本の着実な整備、バス・タ
クシーの規制緩和その他の大規模な
課題がいくつもあります。いずれ
も県民生活や経済に直接にかかわ
る事項であり、沖縄総合事務局と
して昨年に引き続きしっかりと取
り組んでいく必要があります。

沖縄総合事務局は、昨年の一月
から内閣府に置かることになりました。
内閣府は各省庁の上に立つて強力な総合調整を行うという
理念に基づいて新しく創設された
機関です。一年余りを経過して特
に思うことは、私たち沖縄総合事
務局の職員が自分の守備範囲の仕
事を全うすることはもちろんです
が、内閣府の一員となつてこれまで
以上に多くのことに気を配りな
がら仕事を進める必要が出てきた
ということです。そのためには、
沖縄をめぐるさまざまな事柄に普
段から幅広く関心を持ち、自分の
仕事とどう関連するかを考えるよ
うにするというのが大事なことの
一つではないかと思います。今年
は、そういうことを頭において
いただければと思います。

昨年来、残念ながら沖縄総合事
務局で不祥事が問題となつていま
す。二度とこのようなことのないよ
う取り組んでいるところですが、
国民、県民の信頼を取り戻し、今
後不信を招くようなことのないよ
う一層気をひきしめていかなければ
なりません。年頭に当たり、あ
らためて職員の皆様に国家公務員
としての規律の厳格な保持をお願
いします。

最後になりますが、皆様には是非とも健康に留意されて、この一年も元気にご活躍されますよう、そして、沖縄の新たな発展に向かって力を注いでいただくようお願
いして年頭のあいさつとさせてい
ただきます。